

死亡野鳥等調査個票＜死亡個体発見～遺伝子検査（ウイルス分離検査）まで＞			
発見	発見場所	都道府県	A 県
		市町村等	B 村○○町△-△-△
		緯度経度(十進法)	35.681382、139.766084
		環境	河川・湖沼・海上・海岸・耕作地・森林・民家等建物の敷地・その他（ ）
	発見日時	発見日	2008/1/30
		発見時刻	11:00
	発見鳥類	種類	オオハクチョウ
		発見羽数	2
		性別、年齢区分	
	発見者	状態 ※1	衰弱個体が死亡、損傷が激しい
氏名		鳥山鴨夫	
	所属	鳥獣保護センター職員（巡視中）	
回収	回収場所	場所	○○ダム
		管理者	○○ダム管理事務所
	回収日時	回収日	2008/1/30
		回収時刻	12:00
	回収者	氏名	鳥山鴨夫
		所属	鳥獣保護センター職員（巡視中：発見者に同じ）
	接触者	氏名	
		連絡先	
	回収方法	ビニール袋で3重に密封（ビニール外側消毒済み）	
	収容先	家畜保健衛生所	
	処分	方法	焼却
処分日			
場所		家畜保健衛生所	
採材	検体番号	6002A001	
	採材羽数	回収○羽中、○羽	
	採材日 ※2		
	採取部位	C：クロアカ	1
	※3	T：気管/咽喉頭	1
簡易検査	実施者	家畜保健衛生所	
	検査日 ※4	2008/2/1	
	結果（C）	陰性・陽性	陰性
	結果（T）	陰性・陽性	陰性
A型遺伝子検査	実施者		
	検査日 ※4		
	結果	陰性・陽性	
HA亜型遺伝子検査	実施者		
	検査日 ※4		
	結果	H5,H7,その他	
病原性遺伝子検査	実施者		
	検査日 ※4		
	結果	高・低・その他	
野鳥監視重点区域	指定日		
	解除日		
備考 ※5	死体発見時 1 m間隔で 2 羽発見		

※1 鳥の状態は、衰弱/死亡の別、外傷、死亡野鳥の損傷、腐敗等の状態を記入する。

※2 採材日は検査試料（スワブ）の採取を実施した日であり、簡易検査を実施する場合は入力不要である。

※3 スワブ採取場所（クロアカ採取の場合：C欄に1、気管採取の場合：T欄に1、採取しなければ0）を記入する。

※4 検査日は、結果が確定した日。

※5 備考には、複数の鳥が死亡していた場合には、相互の距離や散乱状況を、また発見時点あるいはその前に特段の気象情報があれば記載する。

